

総合診療内科（病院総合内科） 初期臨床研修プログラム(必修内科)

研修責任者 志智 大介

研修期間：必修期間（4 週/年次）、2 年次選択期間（4 週～）

I. 研修到達目標

一般目標（GIO ;General Instruction Objective）

1、

病院総合内科は、臓器を特定せず身体全部を診る内科で、入院患者診療に特化しています。各科、ER から総合内科へコンサルトされた豊富で様々な入院症例の病棟管理を経験して医師として基礎となるスキルや、成人急性期の症候や疾患に対応するために必要なスキルを学びます。病歴聴取法、身体診察法、検査所見の解釈、基本的治療手技などの基本的臨床技能を獲得し、医学的情報源の利用方法および患者教育を含めたコミュニケーションスキルの重要性について理解します。関わるあらゆる疾患の診療のみでなく、心理社会的問題や副次的問題にも気を配る習慣を身につけます。

1 年目・2 年目研修医および指導医による屋根瓦体制での指導が行われます。

行動目標(SBOs ;Structural Behavior Objectives)

- 1.入院された急性期の患者さんを担当医の一人として総合的に管理し、退院までの流れを数多く経験する
- 2.主要症候の臨床的意味とその病態生理を理解し、病歴聴取および身体診察所見、基本的検査の結果から疾患や状況を論理的に判断する習慣を身につける。
- 2.検査手技や治療の選択などの個々の臨床判断に、明確な理由付けをする習慣を身につける。
- 3.最新の医学的知識を継続的に獲得しそれを担当する患者に還元する習慣を身につける。
- 4.心理社会的問題や副次的問題にも対応できるようになる。
- 5.状況に応じて他科・専門医との円滑なコミュニケーション、診療依頼を行う。
- 6.予防医学的観点の重要性について理解する。
7. 患者教育に関与して健康増進に貢献する。
- 7.思考過程が明確に表わされた医療記録を記載できるようになる。

II. 方略(研修場所：病棟、外来、カンファレンス室、)

1、入院患者の管理

1.担当医の一人として 10～15 名／月の新入院患者の診療を受け持つ。上級医や指導医と協力して診療を行う。

2.1 年目・2 年目研修医および指導医による屋根瓦体制での指導が行われる。

- 3.毎日入院カンファレンスが行われ各症例につきプレゼンテーションをし診療方針について徹底的にディスカッションする。
- 4.医療情報を収集し患者にできるだけ還元する。
- 5.感染症や膠原病領域の担当患者に対して、感染症リウマチ内科医師により適時に指導を受け、適時に合同の勉強会を行う。感染症リウマチ内科患者を担当し指導を受ける場合もある。

2、外来での実習

内科外来での実習は、診断能力と患者対応能力の基礎を築く重要な場である。

1.見学・診療補助（初期段階）

研修医は、指導医の初診患者および慢性疾患の再来通院患者の診療を初回から数回見学する。この際、患者の呼び入れ、診療録（カルテ）作成補助、各種オーダー作成補助といった外来診療の基本的な流れと実務を積極的に担当する。

2.医療面接と身体診察（実地訓練）

外来診療の流れを理解した後、指導医またはスタッフが適切な患者（頻度の高い症候、軽症、緊急性が低い症例など）を選択し、研修医が医療面接と身体診察を行う。研修医は得られた情報を指導医に報告（プレゼンテーション）し、指導医はその報告に基づきフィードバックと指導を行う。その後の診断・治療方針の決定と実践は指導医が診療を交代して行い、研修医は見学または診療補助を通じて学習を深める。

3.単独診療（2年目以降）

2年目研修医であり、かつ1年目時などに一度当科でのローテーションを通じて上記外来研修を修了している研修医については、指導医が一人ひとりの能力を見極め個別に判断した上で、初診患者および慢性疾患の再来通院患者の全診療過程を単独で担当することを許可する。独立して診療を行う場合であっても、指導医は研修医が必要に応じてすぐに相談できる体制を確保し、常に安全かつ適切な医療が提供されるよう管理する。

3、レクチャー・勉強会

- 1.指導医とともに日々の病棟回診、およびカンファレンスを行い、収集した基礎データ（病歴、身体所見、過去の医療機関の資料、スクリーニング検査）が充分であるか確認し、患者の病態を検討し、治療方針を決める。
- 2.総合内科主催の基本的臨床技能に関するセミナーを開催する
- 3.研修医向けの各種初期臨床セミナーに参加する。
- 4.CPC、院内感染予防講習会など全病院向けの勉強会に参加する。

学会活動

日本内科学会、日本病院総合診療医学会、日本リウマチ学会、日本感染症学会等、総会、地方会での演題発表など。

Ⅲ. 評価

指導医により、実地診療の場において評価を行う。

カンファレンスでの症例呈示と質疑応答、提出する退院サマリーを指導医が評価する

週間スケジュール

病院総合内科

毎日午前 9 時、午後 3 時 病棟回診・症例カンファレンス開催

感染症・リウマチ内科

外来研修 随時 見学のみも歓迎です

抗菌薬適正使用 AST チーム・院内感染管理 ICT チームのラウンドへ随時参加

Ⅳ. 複数月ローテートした際にできること

- ・研修医個々の能力を見極めた上で、2 年目の外来研修において、全診療過程を主体的に経験することができる